

1. 件名：福島第一原子力発電所3号機原子炉注水停止試験の実施に係る面談
2. 日時：令和4年4月6日（水）13時00分～14時20分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

松田専門職、横山係長、久川審査係、高木技術参与

小西係長（テレビ会議システムによる出席）

福島第一原子力規制事務所（テレビ会議システムによる出席）

黒川原子力運転検査官、木村通原子力運転検査官

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、福島第一原子力発電所3号機における原子炉注水停止試験（以下「注水停止試験」という。）の計画について、資料に基づき主に以下の説明を受けた。

➤ 目的及び概要

- ✓ 今回実施する注水停止試験期間は5月末から8月末にかけて3ヶ月間を予定
- ✓ 注水停止試験の目的は原子炉格納容器（PCV）からの水位低下途中での漏えい箇所に係るデータの取得及び長期の注水停止時による影響の確認
 - ◇ 今回の注水停止試験において生じる可能性のある影響について、以下の対応を実施予定
 - PCV水位がPCV新設温度計／水位計下端に到達した場合注水を再開する
 - 注水停止試験中、原子炉圧力容器（RPV）底部温度65℃、PCV温度60℃を管理目標温度と定め、この温度を超過した場合注水を再開する
 - RPV・PCV温度の上昇やダスト濃度上昇の可能性があるため温度・ダスト濃度のモニタリングについては注視・強化する

○原子力規制庁は、上記説明内容について確認し、東京電力に対し以下の点についてコメントした。

- これまでの注水停止試験結果により判明したことや課題について整理し、今回の注水停止試験の目的、期待する成果及び試験の流れ等について整理してわかりやすくすること。
- 注水停止に伴い、PCV内の状態（水位、温度、圧力）が変化することから、その状態に応じて必要となる監視項目、管理目標及び対応について、PCV内の状態をケース分けして、分かりやすく説明すること。

6. その他

資料：

- 福島第一原子力発電所 3号機 原子炉注水停止試験の実施について